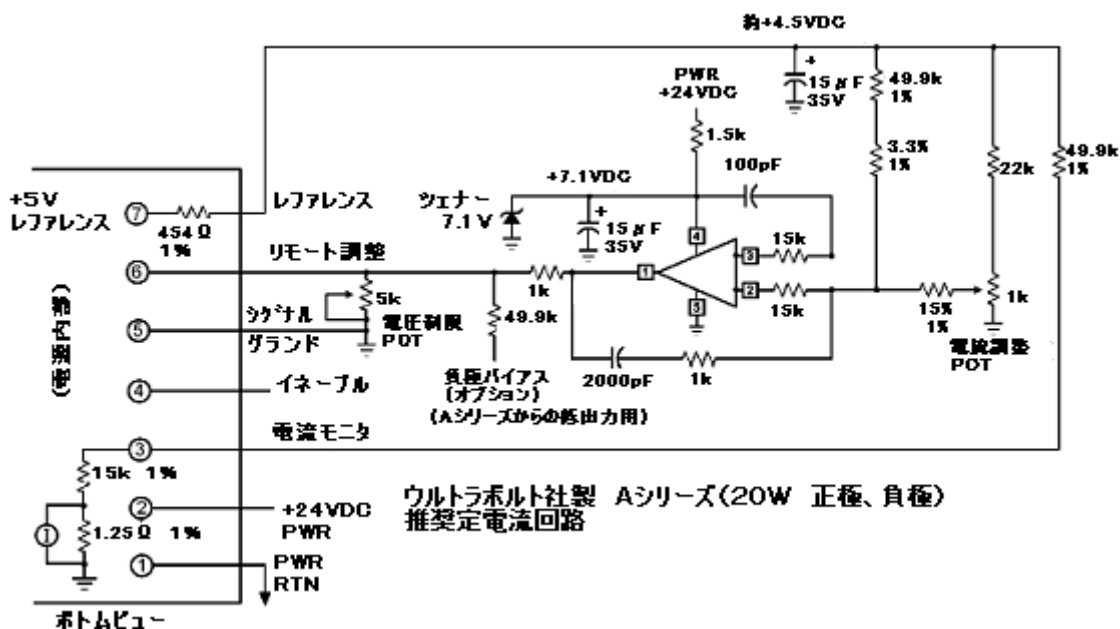


Aシリーズの定電流制御方法 (AP-14 Note)

「A」シリーズの高圧電源 はいずれも、0 VDC からシリーズの各ユニットの最大定格値まで出力電圧を供給できる遠隔プログラム型定電圧高圧電源です。この電源は、0 から+5VDC の範囲の遠隔調整電圧に対応しています(内部クランプは、正のユニットが最大公称出力の20%を超えないように、+5VDCを上回る遠隔電圧を制限しています)。

高圧電源 が規制電流モードで運転できるように、電流モニタ特性を使用することができます。「A」ユニットに外部回路を追加して、高圧電源を電圧調整から電流調整に変換します。以下の提案概念図を参照してください。



注1: 所定の電流制限点の設定に使用できる電流調整用半固定抵抗があります。この回路は、P(正)またはN(負)の高圧電源 のどちらでも動作します。ここに示す提案回路では+24V電源入力が仮定されています。49.9K および22K 抵抗器の下方調整により、回路は+12V パスまで動作できます。
 注2: 高圧電源 の出力制限が必要となる場合、5K トリマーの接続位置は、遠隔調整ピン6 からP(正)の高圧電源に対しては信号接地ピン5またはN(負)の高圧電源に対しては+7.1V ツェナー電圧のいずれかとすることができます。

下記の図は、負の高圧電源定電流レギュレータの例です。正の高圧電源を使用するときは、回路はそれに応じて調整する必要があります。
 (下記図面はウルトラホルト社 推奨回路 UV-HVPS-CONN-7となります)

